

## 山岳部 苔むした沢沿いの道を行く 室蘭岳 (10月2日(水))

学期間休業日となった10月2日(水)に室蘭岳を登ってきました。一昨年に訪れた際、登山道を少し離れ林道に入り込み鹿の屍に遭遇するという貴重な体験をした山です。今回は山頂が雲に覆われ展望が利きませんでしたでしたが、静かな秋の山を堪能することができました。登山口を出発し、無人となった白鳥ヒュッテ横で入山記帳。だんばらスキー場リフトを横目に水元沢コースへと進みます。このコースは途中分岐等の掲示が明瞭でないため、一昨年の我々同様道迷いあるいは遭難した登山者が過去に数名出ているようです。しかし、苔むした沢沿いの道は中々味わい深く、今回もこのコースから山頂を目指しました。途中、マムシ草が数カ所赤い実をつけていました。尾根にとりつく急坂の前に数回の渡渉があります。岩に付いた苔に足を取られ苦戦する部員もいましたが、その一つ一つが良い経験となります。カムイ分岐からの最後の急坂を登り切り、貸切御礼の山頂に到着。雲に覆われた白い世界に包まれながら幸せの鐘をならし、風を避けて昼食をとりました。その後西尾根コースから快調に下山。反省会の後、むろらん温泉ゆららでゆったり入浴して疲れを癒しました。途中高速道路も利用し、すっかり日が短くなって暗くなった岩見沢駅へと戻ってきました。



地図でコースを確認します



数回の渡渉があります



目を引くマムシ草の実



時々休憩



味ある沢沿いの登山道



室蘭岳山頂



白鳥ヒュッテに到着